

令和7年度第3回三重県社会教育委員の会議 概要

1. 開催日時 令和8年3月2日（月） 9時30分～11時30分
2. 場所 三重県庁7階 教育委員室
3. 出席者 社会教育委員6名（奥村隆志委員、鈴木智恵子委員、杉谷哲也委員、畑和伸委員、志治優美委員、池山敦委員（座長））
事務局6名（坂井育成支援・社会教育担当次長、松本課長、酒井課長補佐兼班長、中須主幹兼係長、早川主幹兼社会教育主事、森主任）

4. 傍聴者 0名（公開で実施）

5. 内容

（1）審議事項

- ・令和6・7年度三重県社会教育委員の会議 審議のまとめ（案）
- ・令和8・9年度審議テーマについて
- ・令和8年度の社会教育関係団体への負担金

（2）報告事項

- ・令和7年度の社会教育関係の取組内容
- ・令和8年度の社会教育関係の取組内容（予定）
- ・令和8年度事業マネジメントシート

6. 概要

（1）審議事項

事務局から「令和6・7年度三重県社会教育委員の会議 審議のまとめ（案）」や「令和8・9年度審議テーマ」について説明し、委員から以下のとおり意見がありました。

- 次代を担う若者の活躍する姿が見えにくい。社会福祉協議会や障がい者・高齢者施設と連携し、不登校の学生が発表するなど若者の活躍の場が増えるとよい。【杉谷委員】
- 社会教育の活動を普及するため、地域にいる一般の方々をもっと活動に巻き込むことが大切である。【鈴木委員】
- 地域には見守りが必要な高齢者がいる。一般の方々が共に活動することにより地域が支えられている。一般の方や多くの主体が共になれるテーマとして“挨拶”がある。【畑委員】
- 多くの方々を巻き込むには、“共感できる”ことが大切である。挨拶や防災、健康などは共感できる分野。共感できることが必要で、楽しい・気持ちいいと思える取組が大切だ。【池山委員】
- 10年前に活躍されていた方が今も現役で活躍されており、世代交代が心配。若者を巻き込むには学校教育との連携は大切。教育委員が学校に訪問する際、社会教育委員も同行した方がいいのでは。【奥村委員】
- 県の社会教育委員が現場を見ることは大切で、市町の活動に参加していくことは大切である。【志治委員】

7. その他

- ・任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日
- ・次期委嘱 令和8年6月1日が辞令日で、令和8年度第1回社会教育委員の会議で辞令交付式